

氏名	戸田博子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4818 号
学位授与の日付	平成 25 年 6 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Clinicopathologic Analysis of Localized Nasal/Paranasal Diffuse Large B-Cell Lymphoma (鼻腔・副鼻腔に局限したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の臨床病理学的検討)
--------	--

論文審査委員	教授 西崎 和則 教授 松川 昭博 准教授 金廣 有彦
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)は、non-GCBタイプとGCB(germinal center B-cell)タイプの、分子的に性質が異なる2つのサブグループから成っており、前者は相対的に予後不良である。本研究で、我々は限局性鼻腔・副鼻腔DLBCLの患者39人の臨床病理学的特徴を検討した。免疫組織化学に基づく亜分類により、Hansアルゴリズム及びChoiアルゴリズムいずれでも11人(28%)がGCBタイプで、いずれのアルゴリズムでもnon-GCBタイプが優勢であったが、予後は良好であった。また、全生存期間はGCBタイプとnon-GCBタイプの間で有意差はなかった。さらに、限局性鼻腔・副鼻腔DLBCLの予後は、他部位の限局性節外性DLBCLより良好であった。節外性DLBCLの予後は通常、節性DLBCLより不良と考えられている。しかし、限局性鼻腔・副鼻腔DLBCLと限局性節性DLBCLの間に差は示されなかった。結論として、non-GCBタイプは予後不良と考えられているが、我々の研究では、限局性鼻腔・副鼻腔DLBCLの予後は亜分類と無関係に良好であった。

論文審査結果の要旨

本研究は、節外性である鼻腔・副鼻腔に局限したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の予後が、germinal center B-cellタイプとnon-germinal center B-cellタイプにかかわらず節性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫と同じく良好であることを示した価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。